

### コロナ禍に打ち勝ち衆院選挙等勝利のための [同盟躍進期間] (4月1日～5月31日)を 力を合わせて成功させましょう

3月23日の県本部三役会議で中央が呼びかけた「コロナに打ち勝ち総選挙勝利のための同盟躍進期間」(5月末迄)の提起を積極的に受け止めて全力を上げることを確認しました。

◆安倍・菅政権で、悪政が数を頼りに進行しています。コロナウイルス感染の第4波到が始まる中で聖火リレーも強行しています。

◆それだけに選挙勝利めざす支持拡大と会員拡大・国会請願署名、映画・千代子運動とを結び付けての活動が大切です。今年の国会請願は5月12日に関東近県の同盟で行います。そのため県本部の分は早めに中央に送りますので、これまでに集めている署名は直ちに県本部に届けてください。その後集まった分は来年度に回します。

◆新しい入会申込書が中央から届きました。この新入会申込書や署名用紙、「弾圧に抗して平和と民主主義を求めた人々」(県同盟発行)などが必要な方は、県本部までご連絡下さい。



「伊藤千代子学習講演会」が3月27日、教育センターで検温などコロナ対策の下に40名が参加して開かれました。西村明宏県同盟会長は、「私たちは『再び暗黒政治を許さないために』力を合わせ、映画『伊藤千代子の生涯』をみなさんと共に成功させたい」と主催者あいさつをしました。

講師の藤田廣登さんは、「私たち国賠同盟が何故汗水流して署名活動をしているのか。それは、100年前の治安維持法による国家的犯罪に決着がついていないからです」と切り出し、ヒューマニズムにあふれた伊藤千代子の少女時代を語りました。東京女子大の時にはベーベルの『婦人論』を読んでいた。ジェンダー平等にめざめ、「男子の催眠術から、そして自己に対する催眠術から覚めるとき、どんなすばらしい世の中が開かれてくるでしょう」と友に送った手紙を紹介し、彼女の成長過程を話されました。そして、日本で初めて行われた普通選挙で労働党支援などに参加し、社会変革の闘いの中で特高警察の拷問で命をたれたことなど、千代子の24年の人生をふりかえりました。

講演の中で千代子らとともに社会変革を求めて活動していた福井市出身の大島英夫・とよ夫妻も昭和3年の「三・一五事件」(治安維持法による弾圧で検挙され、とよと一緒に淀橋署の留置所に入れられた生後6カ月の赤ちゃんが翌日亡くなったことも話されました。

藤田さんの講演は、香港の女性活動家周庭さんが「国家安全法」で投獄されていることや、ミャンマーで民主化を求めて闘っている青年たちの姿とも重なりました。

そして、今なお決着のついていない治安維持法犠牲者に国として謝罪と賠償を実現する私たちの運動が益々重要だと思われました。

講演会では、同盟への入会者や映画製作募金一万円を協力して下さる方もおられました。



### 福井県版

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
福井県本部

〒918-8203  
福井市上北野29-15  
TEL 0776-76-0836

### 私たちの運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
  - 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
  - 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

みんなで参加しましょう!

## 憲法を守り育てる集会

- ◆5月3日(月)午後2時～4時
- ◆アオッサ8階ホール
- ◆講演 人を救えない国  
金子 勝氏 (立教大学院特任教授)

主催 福井総がかりアクション/9条の会・ふくい